

## = 活動報告 =

### 第23回山梨県自動車整備技能競技大会が開催されました

9月17日（土）に開催された第23回山梨県自動車整備技能競技大会には、多くの皆様にご協力頂き、誠にありがとうございました。

競技内容は、「1年定期点検、日常点検」及び、お客様ご用命事項とスキャンツールを使用しての故障設定箇所の整備、並びに基礎測定等の技術を競いました。

各チームの競技成績は僅差という結果であり、選手の皆様が日頃の実力を遺憾なく発揮された賜物と思われます。

出場されました選手の皆様がこの貴重な経験を活かし自信と誇りを持ち、今後の業務にまい進して頂きたいと思います。

なお、上位入賞者は、次のとおりでした。



#### ☆ 大会結果 ☆

##### 優勝 都留支部

〔監督〕	増田 博信	禾生自動車整備工場
〔選手〕	志村 康弘	（有）田原自動車整備工場
	川村 治	GARAGE K II

##### 準優勝 岳麓支部

〔監督〕	古屋 和樹	（有）丸正
〔選手〕	渡邊 嘉之	真栄自動車工業
	宮下 俊一郎	宮下自動車修理工場

##### 第3位 峡北支部

〔監督〕	清水 佳一	甲信自動車（有）
〔選手〕	内藤 寿	内藤自動車整備工場
	武藤 雅紀	武藤モータース



優勝 都留支部



準優勝 岳麓支部



第3位 峡北支部

多くのご声援ありがとうございました。

優勝された都留支部の選手は、令和4年11月26日（土）に東京ビックサイトで開催される全国大会に県代表として出場します。

皆様の応援をよろしくお願い致します。

【 競技大会講評 】 ・ ・ ・ ・ ・ 米山審査委員長

監督、選手の皆様、応援者の皆様、本日は朝早くから大変お疲れ様でした。

大会役員の皆様はじめ、審査員並びに大会関係者の皆様には、大会運営にご尽力戴きまして、誠にありがとうございました。

心よりお礼申し上げます。

本大会出場チームの中、最も優秀な成績を挙げられました都留支部の選手の皆様、誠にありがとうございます。

また、出場された皆様の日頃の研鑽とご努力に心から敬意と感謝を申し上げます。

それでは、今大会の講評をさせて戴きます。

この度の競技は、「1年定期点検整備」、「日常点検」をベースにした点検作業と故障整備の正確性を競う「実車競技」、測定作業や技能を競う「基礎作業競技」の2部門で実施させて頂きました。

今回は上部団体である日整連の実施方法と同様に、車両をジャッキアップせずに「1年定期点検整備」、「日常点検」の整備作業を実施して頂きました。

この方法により実施不可能な整備項目につきましては、「点検実施済み良好」とし、作業項目を減らして競技時間を短縮し前半、後半の2部制で行った次第です。

今回の故障設定は4箇所とし、エンジン部門では、スキャンツールによる故障探究整備を行う項目を取り入れ、DTCの確認からアクティブテストを駆使し、サーキットテストで部品の良否判定をすることで確実な整備作業をして頂きました。

シャシ・ボディ部門では、保安基準にのっとり点検整備を行うことに終始して頂きました。

両部門とも、整備業界で取り入れているF A I N E Sの整備情報を利用しながら的確な整備を行う整備士としてアピールすることが出来たと思います。

基礎作業については、単体部品をサーキットテストで測定し、故障状況から不具合状態を判断する項目に加え、日頃の車検整備等で行われるアナログ部品の分解組立に係る作業を実施して頂きました。

どのチームも的確な整備作業が行われ日頃の整備作業が十分発揮されていたと思います。

選手の皆様は、今大会に参加されたことに自信と誇りを持っていただき、今後日常の整備技術へのフィードバックと後輩の人材育成に、ご尽力くださいますようお願い致します。

最後に、車社会における安全確保と環境保全のため、世の中の変化や技術の進歩に遅れることなく、より高度な整備知識と技術を習得していただき、お客様の高い信頼と満足を獲得されますことを、ご期待申し上げますとともに、優勝されました都留支部チームは、本年開催されます全国大会での健闘をお祈り申し上げ、講評とさせて頂きます。

本日は大変お疲れ様でした。

## 第 2 3 回山梨県自動車整備技能競技大会競技問題

この競技車両について下記の注意事項を留意の上、お客様の満足度を高めるために、安全確保及び車両を損傷しないように気配りを欠かさず、日常点検及び1年定期点検整備を別紙「山梨県自動車整備競技大会用 1年定期点検整備記録簿」(以下、点検記録簿という)を主体に実施し、併せて故障箇所を整備しなさい。

なお、競技車両はご用命事項として「エンジンが始動しない」及び他の不具合があります。

競技車両は、前回1年前(走行距離 53,000 km)に2年点検を実施し、現在新車から6年(走行距離62,000 km)経過したものとする。

### 【注意事項】

1. 問題を受領したら「支部名」「選手名」「ゼッケン番号」を記入し、それ以外は競技開始まで記入しない。
2. 監督、選手は、競技前に打合せ及び工具等の準備を行うことができ、開始1分前のアナウンスで監督は競技エリアより退出すること。
3. 実車競技時間は、競技開始の合図をもって60分間で行う。
4. 基礎測定作業は、実車競技時間60分間の中で自由に行って良い。
5. 危険回避のため、エンジン作動中はシフトレバーをPレンジから動作させないこと。
6. エンジンは必要時間以上に連続作動させない。  
長時間のアイドリング、過度のレーシングは不可とし、現象が確認できたら速やかにエンジンを停止させる事。(審査員が口頭注意を行うこともあります。)
7. 点検や、確認のため車両を走行させるなどの作業は行わないこと。
8. 点検の結果、部品交換、修理等の必要が生じたときは、その状態を審査員に申告(口頭で説明)し、審査員の指示に従い作業を行うこと。
9. 部品を請求する場合は、部品請求伝票に必要事項を記入し審査員に提出すること。
10. 日常点検及び1年点検結果を「点検記録簿」に記入すること。
11. 「点検記録簿」のうち点検項目及びチェック欄に当初より「P」「レ」がある箇所は省略、点検済み。
12. 「作業報告書」には、故障箇所及び故障の状態などを記入すること。
13. 「DTC、基準値及び測定値報告書」には、測定項目に指定された測定した時の値を記入すること。
14. フロントガラスの定期点検済みステッカーの張り替えは不要とする。
15. 審査員の指示には従うこと。
16. 選手は競技終了時間までに問題用紙のすべてを審査員に提出すること。
17. 競技終了時間前に作業が完了した場合、問題用紙を審査員に提出し、車両前方で挨拶をした後その場で待機する。

【 お客様情報 】

お客様名     コバヤシ 様  
住     所     笛吹市石和町唐柏 7 9 0

お客様から車両の引き取りの依頼があり積載車にて工場に入庫しました。  
お客様から、以下のようなご用命事項と同時に日常点検及び1年定期点検の依頼があります。

また、ご用命以外の故障項目については、日常点検及び1年定期点検で確認して下さい。

お客様の満足度を高めるために、安全確保及び車両を損傷しないように気配りを欠かさず、下記ご用命以外にも必要があれば、車両法（保安基準）に則り、別紙「山梨県自動車整備競技大会用 特定整備記録簿」別表6（以下、整備記録簿という）を「自動車定期点検整備の手引き」および電子整備マニュアルを参照し実施してください。

- \* 競技において車両を持ち上げず行いますので、それに伴う作業については点検記録簿に整備済みとして扱い、点検・良好「レ」を記載しておきます。
- \* 車両故障状況確認での走行テストは出来ません。  
これに伴う作業項目については点検省略として扱い「P」を記載しておきます。

ご用命事項	いつ	どこで	どのように	どうなった
1	今朝	車庫で	スタータは回るが	エンジンが掛らない
2	1週間ほど前から	メータパネルに	見慣れない黄色いランプが	点灯するようになった
3	走行中	荒れた路面や段差などを乗り越えた時など	助手席側から	カチャカチャ音がする

- \* 点検の結果、故障したと思われる部品については、修理、交換前に審査員に申告し、交換又は修理他の方法について審査員の指示に従って下さい。

# 特定整備記録簿（1年定期点検整備記録簿）

## 第23回山梨県自動車整備技能競技大会用

※印は1回000km以下の走行距離によって省略できる項目  
 ※印は点検プラグが白金プラグ又はイリジウム・プラチナの両方  
 は省略できる項目

### 点検の結果及び整備の概要

点検 良好	交換	調整	A	清掃	C	省略	P
特定 整備	修理	補修	T	注油	L	該当 なし	

依頼者(使用者)の氏名又は名称 コバヤシ	車名及び型式 トヨタLA350A	自動車登録番号又は車両番号 山梨580わ〇〇〇〇
住所 笛吹市石和町唐柏790	原動機の種類 KF	初年度登録年又は 引継ぎ年 20〇〇
		車台番号 LA350-〇〇〇〇〇〇〇〇

別表6

エンジン・ルーム点検		足廻り点検		車載式故障診断装置点検		交換部品等	
<b>■パワー・ステアリング</b> ベルトの緩み、損傷 	<b>■冷却装置</b> ファンベルトの緩み、損傷 冷却水の漏れ ファンベルト 	<b>■ブレーキ・ディスク、ドラム</b> ☆ディスクとパッドとのすき間 ☆ブレーキパッドの厚み ☆ドラムとライニングとのすき間 ☆ブレーキ・シューの磨耗部分、ライニングの磨耗 	<b>■ホイール</b> ☆タイヤの空気圧(スベアタイヤ含む) ☆タイヤの亀裂、損傷 ☆タイヤの溝の深さ、異常な磨耗 ☆ボルト、ナットの緩み 	OBDの診断の結果 <b>日常点検</b> ブレーキ液の量 バッテリー液の量 冷却水の量 エンジン・オイルの量 エンジンのかかり具合、異音 伝達と加速の状態 ヘッドランプ・ストップ・ランプ・ウインカー・ランプ等の点灯、点滅 ウインド・ウオッシュ液の量 ウインド・ウオッシュ液の噴射状態 ワイパの拭き取り状態	エンジン・オイル オイル・フィルタ LLC(ロング・ライフ・クーラント) ブレーキ・フルード フェアエルヒューズ エバポレータVSV バルブ12V/21W 助手席シートベルト フロアアンカーカラー	数量 個 個 個 1 1 1 1	
<b>■点火装置</b> ☆火花プラグの状態 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 	<b>室内点検</b> <b>■ブレーキ・ペダル</b> 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキの効き具合 	<b>■ブレーキのマスター・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ</b> マスター・シリンダの液漏れ ホイール・シリンダの液漏れ ディスク・キャリパの液漏れ 	<b>■エンジン・オイル</b> 漏れ <b>■ブレーキ・ホース、パイプ</b> 漏れ、損傷、取付状態 	<b>その他の点検・整備項目等</b> 助手席シートベルト、フロアアンカーボルトカラー取付、フロアアンカーボルト締付	<b>メンテナンスに関するアドバイス</b>		
<b>■バッテリー</b> ターミナル部の緩み、腐食による接続不良 	<b>■パーキング・ブレーキ・レバー(ペダル)</b> 引きしる(踏みしる) パーキング・ブレーキの効き具合 	<b>■トランスミッション、トランスファ</b> ☆オイルの漏れ ☆オイルの量 	<b>■エグゾースト・パイプ、マフラー</b> ☆取付けの緩み、損傷、腐食 ☆取付け板の取り付けの緩み、損傷、腐食 				
<b>■エンジン</b> 排気ガスの色 CO、HCの濃度 ☆エア・クリーナー・エレメントの汚れ、詰まり、損傷 	<b>■クラッチ・ペダル</b> 遊び 切れたときの床板とのすき間 	<b>■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト</b> ☆連結構の緩み 					
<b>●DTC番号</b> P0443	<b>●タイヤの溝の深さ</b> (1.6mm以上) 前輪 左 1.6以上 mm 右 1.6以上 mm 後輪 左 1.6以上 mm 右 1.6以上 mm <b>●タイヤの空気圧</b> 前輪 左 260 kPa 右 260 kPa 後輪 左 260 kPa 右 260 kPa	点検の年月日 2022年 9 月 17 日		点検(整備)時の総走行距離 62,000 km			

注：エンジン・ルーム、室内、足廻り、下廻り、外廻り及び車載式故障診断装置の各点検項目は法に定められた項目を示す。OBDとは車載式故障診断装置を示す。

## 実車協議観測・測定報告書

観測・測定項目	基準値及び測定値	備考
<b>D T C</b> (ダイアグノシス・トラブル・コード) チェックランプが点灯する 原因となったもの	コード番号	P0443
	異常系統	パージVSV系統断線 High (類似可)
ブレーキペダル遊び	基準値	0.5 mm ~ 3.0 mm
	測定値	0.5 ~ 3.0 mm
ブレーキペダルを踏み込んだときの床板とのすき間	基準値	73.8 mm ~ 以上 mm
	測定値	73.8 mm以上
パーキング・ブレーキの引きしろ	基準値	4 ノッチ ~ 7 ノッチ
	測定値	4 ~ 7 ノッチ
ホイール・ナットの締付トルク	基準値	103 N・m
タイヤ空気圧	基準値	260 kpa フロント側

# 実車競技作業報告書

## 【注意事項】

故障箇所(部品名等)は、正式名称でなく、一般的な名称でも良い。また、整備内容欄の処置項目の中から該当するものに○を付記しなさい。(その他については、備考欄に内容を記載)

整備箇所 (部品名等どこが、なにが)		不具合の状態 (どうなっている)	整備内容 (なにをやった)	備 考
(例) オルタネータ・ベルト		損 傷	交換、修理、 調整、締付、 その他	
1	フューエルポンプ ヒューズ 10A	断線	交換、修理、 調整、締付、 その他	
2	ページ VSV	コイル断線	交換、修理、 調整、締付、 その他	
3	リヤ左ウインカー バルブ 12V/21W	異品取付け 24V/25W	交換、修理、 調整、締付、 その他	
4	助手席シートベルト アンカーボルト	ボルトカラー 欠品による異音	交換、修理、 調整、締付、 その他	カラー 取付



# 基礎測定問題

## 問 題 1

机上にあるリヤ・ホイール・シリンダについて、部品構成図を参照して分解し、点検、清掃、給脂、給油及びノギスにてホイール・シリンダ内径測定を行い、ピストン・カップ及びダスト・ブーツを新品に交換し、組み上げなさい。

ホイール・シリンダ内径
17.45 (±0.05) mm

## 問 題 1

机上にあるヘッドランプ・ディマ・スイッチについて、点検表を参照し測定するスイッチ測定端子番号の記入とサーキットテストにて端子間を抵抗測定し、測定値の記載と基準値からの良否判定しなさい。

なお、測定結果から、このスイッチを車両に装着し操作した場合、前照灯、方向指示器の点灯状態がどうなるか。

考えられる現象を選択項目の番号から選び回答欄に記入しなさい。（複数回答可）

【測定結果】（注意：測定値は、小数点第2位を四捨五入し第1位までとする。例 1.2Ω）

スイッチ名	点検端子番号	基準値	測定値	良否判定
ライト・コントロール・スイッチ	9 — 6	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否
	5 — 6	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否
	9 — 6	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否
	9 — 10	1 Ω未満	∞ Ω	良 ・ 否
	9 — 11	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否
ターン・シグナル・スイッチ	9 — 12	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否
	9 — 2	1 Ω未満	∞ Ω	良 ・ 否
	9 — 1	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否
	9 — 2	1 Ω未満	0.0 Ω	良 ・ 否

【故障スイッチ取付後の現象】

	どのスイッチで	何の機能が	どうなる
例	1	5	1 2
①	1	7	1 4
②	2	1 0	1 4
③	—	—	—

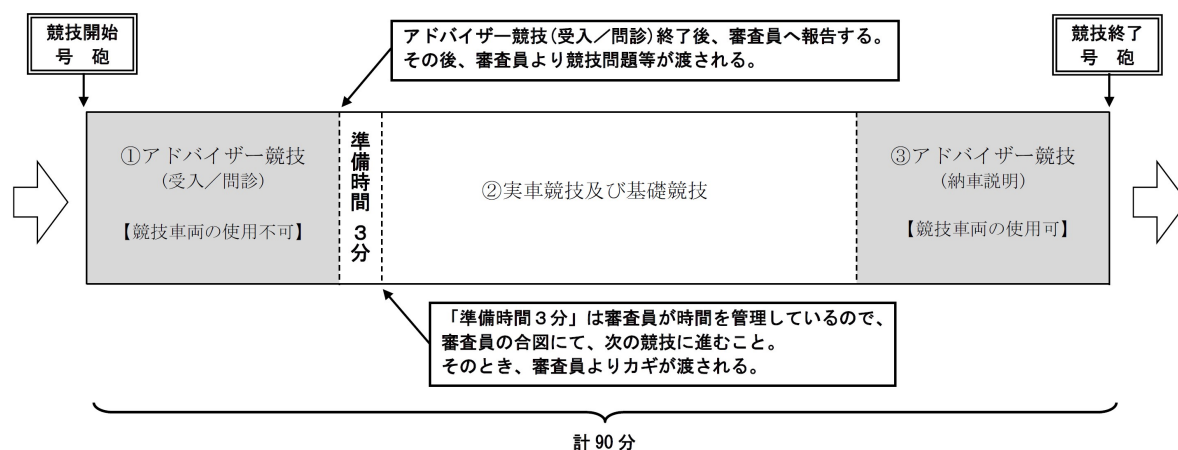
【選択項目】

1. ライト・コントロール・スイッチ      2. ターン・シグナル・スイッチ      3. OFF  
 4. TAIL      5. LO      6. HI      7. PASS      8. RH ON  
 9. LH ON      10. RH（フルターン）      11. LH（フルターン）  
 12. 暗く点灯する      13. 点滅速度が速くなる      14. 点灯しない

## 第23回全日本自動車整備技能競技大会への応援募集について

◇開催日	11月26日(土)		
◇場所	東京ビックサイト 西3・4ホール		
◇集合出発	5:50(振興会集合)	6:00	出発
◇交通手段	大型貸切バス		
◇開会式	8:30~9:00		
◇競技	<u>(Aブロック) 9:15~10:45 山梨県チーム</u>		
	(Bブロック)	11:40~13:10	
	表彰式	14:40~15:10	
◇山梨県代表選手	【都留支部】	志村 康弘	選手((有)田原自動車整備工場)
		川村 治	選手(GARAGE KII)

## 第 23 回大会の競技の流れ



◇申込期限 下記、応援参加申込書に必要事項をご記入の上、10月28日（金）までに、教育課へFAX（055-263-4420）にてお申込み下さい。  
詳細は参加者に追って連絡いたします。

## 全日本自動車整備技能競技大会応援参加申込書

認証番号	8 -	支部名	支部
事業場名			
参加者名			



## AMS山梨青年部の活動について

### 正副部長会議

- ◇日 時 9月12日(月) 19:30～20:30
- ◇場 所 振興会 会議室
- ◇出席者 小松部長、大久保、望月、小鳥居、渡邊副部長、大木監事、川寄代表
- ◇審議内容 1)『車ふれあいまつり2022』について  
2) 各委員会(広報・技術・交流・経営)活動内容等について  
3) その他

### 第37回親睦ゴルフ大会が開催されました

標記ゴルフ大会が10月1日(土)CCグリーンバレイにて、総勢75名の会員、組合員の皆様の参加により、盛会に開催されました。なお、成績は次のとおりでした。

また、チャリティーホール金51,000円は、後日、山日YBS厚生文化事業団を通じて、交通遺児に寄付させて頂きます。

参加者の皆様にはご協力ありがとうございました。



(敬称略)

順 位	氏 名	支 部	G R O S S	H D C A P	N E T
優 勝	的場 達矢	日下部	93	22.8	70.2
準優勝	三枝 寛	塩山	75	3.6	71.4
第3位	窪田 弘幸	甲府西	74	2.4	71.6
ベスグロ	窪田 弘幸	甲府西	74	2.4	71.6